



進めています、支え合いのまちづくり



これが、支え合いの仕組みができるプロセスです！

生活支援コーディネーターがパイプ役に

高齢者支援協議体 〈町域〉の話し合いの場

町の支え合いの仕組みづくりを考え、支え合いが地域に広がっていくようなサポートを行う

【具体的な活動内容】

- ・創年倶楽部の創出、居場所づくりのサポート
- ・リーダー、担い手の養成講座企画
- ・ボランティアポイントの仕組みづくり
- ・「かみしるべ」の発行 など

地域の課題と町の課題を共有

くろねえ会議 〈小学校区域〉ごとの話し合いの場

民生委員や地域住民を中心に、地域の困り事や困った人について話し合う

個人の課題と地域の課題を共有

地域ケア個別会議 〈地域包括支援センター主催〉の話し合いの場

個人の困り事について、関係機関と地域住民と一緒に話し合う

わがごとまるごと支え合い講座

社会福祉協議会職員

地域には、福祉関係に理解と関心がある人がたくさんいることが分かり嬉しく思いました。

講座に参加していない多くの方々への啓発のアプローチをどうしていくのか、くろねえ会議との連携について検討していきたいです。

座談会では、どこまで他人の事情に踏み込んだらよいか加減が分からない、といった意見がでました。



地域包括支援センター職員

参加者の皆さんが、身近な地域の困り事に気づいていて、支え合いが必要だと思っていること、地域を良くして安心して暮らせる町にしたいと思っていることに感動しました。地域での支え合いに対する熱い思いに触れ、改めてこの活動を前進させる決意をいたしました。

「助けられ上手」を増やすにはどうしたらいいか。地域の皆さまと一緒に考えていきたいです。

民生委員の代表

座談会では、地域の課題について、自治会未加入者が増えていること・一人暮らしが増えていること・新しい方が越してきても近所づきあいが無い・移動手段の問題・個人情報の問題（どこに誰が住んでいるか分からない）等の問題があがっていました。「おせっかいする人」が少なくなっていることを感じました。

各々が抱く「地域への想い」の共有ができました。地域ごとに課題が異なること、地域のつながりが希薄化していることを実感しました。だからこそ、「日頃からの声かけをする等、今のうちから地域のつながりを持っていこう！」という参加者からのご意見もあり、心強く感じました。



町職員

生活支援コーディネーター



シニアサポーター

各会場とも多くの参加者がいたことに、上三川町は良い町だと実感しました。これだけ多くの方がご近所の困り事に関心を持たれ、何かそのために行動しようとしていると思うと心強い限りです。座談会では、「居場所の必要性」と「居場所への移動手段」についての課題が出ていました。

地域や環境がそれぞれ違えども、今後の町の高齢化に関し、いつかは誰にも訪れる現状を何とかしたい！「お互い様」との関心を持った方が年齢を問わず、こんなにもたくさんいることに驚きを感じました。

同じ上三川町でも、地区ごとに抱える問題が様々であり、小学校区内でも自治会や班によってそれぞれの抱える問題が違うことを実感しました。

皆さまの抱える困り事を高齢者支援協議体に吸い上げ、少しでも「わがごとまるごと支え合い活動」が盛り上がるように共に頑張りたいたです。

寸劇が分かりやすかった、とのお言葉をいただき、やりとげた達成感がありました。

ボランティアの代表

比較的、多くの方に参加していただき良かったです。自治会ごとに出席者のばらつきがありました。地域の課題では、地域の行事に参加する人が限られて行事や活動が減っていること、空き家が増えていること、自治会未加入者の問題や、加入者の高齢化等の問題があげられていました。